

---

## 序 文

# 臨床検査スターターの皆さんへ

山田俊幸(自治医科大学臨床検査医学)

---

臨床検査技師としてお仕事をスタートされる皆さん、臨床検査の世界へようこそ。臨床検査や臨床検査技師をどのようにイメージしていますか。今ははっきりしたものがなくても、やりがいを見つけ、長くこの仕事を続けていかれるようお祈りします。

さて、臨床検査技師の使命は、専門知識と技術に立脚して、医療の実践に貢献することです。プロフェッショナルとして、患者、医師、医療スタッフの要望に応えることです。国家試験に合格するだけでなく、プロとなるために、皆さんは養成校でさまざまなことを学んできました。ただし、卒業後すぐに仕事をスタートすると、“これまで習ったことと違うな”と感ずることがしばしばあるかと思います。学校教育とは、実際の仕事を見据えて必要最小限の基本を教えることが使命ですので、実際の職場ではあまり行われていないことも教育します。例えば、血液凝固検査ではフィブリンクロットを肉眼で観察することは基本中の基本でスキップすることは許されませんが、実際の臨床検査はほぼ機械化されており、肉眼で観察することはほとんどないでしょう。職場では基本は理解したものととして実践的なこと、機械がどのようにクロットを検知するか、機械をどのように扱うか、などを学ぶことになります。

本書は、卒後まもなくの新人が実践的なコツのようなものを会得し、現場でスムーズにスタートできるように企画されたものです。3章の構成になっており、第1章で、まず、働く環境である病院や組織、医療制度、臨床検査の実学的なものがoverviewされています。第2章には、ベテランが自らの経験をもとにスターターに学んでもらいたいエッセンスがQ & Aの形で詰め込まれています。第3章は、新卒の方だけでなく、一定期間のブランクの後に業務に入る方にも役立つ内容となっています。

どうぞ円滑に仕事をスタートされ、医療に貢献できるプロフェッショナルまで飛躍してください。医療現場でのプロフェッショナルを目指すことが第一目標ですが、皆さんにはぜひ、その上を目指してもらいたいと願っています。医療施設の組織の一員として、運営における貢献、検査の精度向上や標準化など医療社会的な貢献、検査医学という学問体系での研究面での貢献、そして、次世代のスターターズをプロフェッショナルに導く教育面での貢献、など、多方面で活躍する臨床検査技師を目指していただくことを期待します。

---